

議題	基準諮問会議からの報告
----	-------------

項目	その他の審議の状況
----	-----------

その他のテーマ提言に関する審議の状況

1. 審議事項(1)-1において、新規テーマとして提言したもの以外で、現在、基準諮問会議において、新規テーマとして提言することの是非を検討しているものは、以下のとおりである。

(会計基準レベル)

当初提案	項目	対応
第 17 回 (H25. 3. 11)	継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発について	企業会計審議会における特別目的の財務諸表の監査に関する動向を見守っており、その結論が出た段階で検討を行う予定としていた。 平成 26 年 2 月 18 日付で企業会計審議会より、特別目的の財務諸表の監査を導入する監査基準の改訂が行われたため、次回以降の基準諮問会議において、検討を行うこととする。
第 18 回 (H25. 7. 16)	完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理	実務対応専門委員会に評価の依頼を行っている。

(実務対応レベル)

当初提案	項目	対応
第 16 回 (H24. 11. 8)、 第 17 回 (H25. 3. 11)	リストラクチャリングに関連する引当金、早期割増退職金の会計処理	貴委員会に調査を依頼している。
第 20 回 (H26. 3. 18)	指定国際会計基準を任意適用している会社において、親会社が子会社を吸収合併する際に子会社から受け入れる資産及び負債の適正な帳簿	今回の基準諮問会議で、実務対応専門委員会に評価を依頼することとした。

	価額の考え方	
第 20 回 (H26. 3. 18)	加速型自社株買い (ASR: Accelerated Share Repurchase) の会計処理	今回の基準諮問会議で、実務対応専門委員会に評価を依頼することとした。

企業会計基準委員会の活動状況について

2. 貴委員会より前回の基準諮問会議（平成 25 年 11 月 20 日）以後の活動の状況の報告を受けた。その報告に関連して、委員より以下のコメントがあった。
- のれんの会計処理について、IASB において IFRS 第 3 号の適用後レビューが行われているが、ASBJ ではどの様に取り組んでいるのかお聞きしたい。IFRS のエンドースメント手続の中での論点として、のれんの会計処理があがっており、そちらで削除又は修正をする方法もあろうかと思われるが、IFRS 第 3 号の適用後レビューの中で意見を出し、IFRS の改正を促す進め方もあるのではないか。
 - 最近の活動状況について、当期純利益・リサイクリング・のれんの償却に関する意見発信が特に重要であると考えている。これまでも多大に努力していただいているところでもあり、数年前に比べれば遥かに我々の意見が反映されるようになってきており、引き続きお願いしたい。
 - IFRS のエンドースメントについて、いつ頃公開草案を出す予定であるか。また、コンバージェンスについては、どのようなタイミングから議論を開始していくのか。また、今後行われるコンバージェンスにおいて、基準諮問会議はどのような役割になるのか。

以 上